



・**獣医研修員制度** 本年8月より、獣医師法第16条の2に定める臨床研修を目的とする獣医師さんのために獣医研修員制度を開始しました。臨床研修を行う研修獣医師に対して、獣医研修員は有料の研修獣医師のことで、弊院兼務職員として採用している有給の研修獣医師と区別するために設けた弊学独自の名称です。獣医研修員には週1～2日と3～5日の研修コースがあります。御希望の獣医師は事務にお問い合わせ下さい。(病院長 浅沼敏武)

・**獣医臨床招聘教授** 獣医学部・VMTHは設置前から現在まで、多くの関係者のご支援とご協力で成り立っています。今年度から、獣医学部・VMTHの獣医臨床に関する教育研究に多大な貢献をいただいた先生に、岡山理科大学獣医臨床招聘教授の称号付与を始めました。これを機会にさらなるご支援をお願いいたします。(K)

VMTH NEWS

・**いこいの丘市民公開講座** 4月22日開催の獣医学部主催第25回いこいの丘市民公開講座に参戦。講座テーマは「犬や猫の病気にいち早く気づくには？」で、「犬・猫の病気のサイン」と「猫の尿路についてのお話」の2本立て。ぎゅーっと濃くして1人45分のつもりが、熱が入りすぎて2人とも時間オーバー。10～70代以上まで幅広い年代の方に熱心に聴いていただき、質問も盛りだくさん。わかりやすかったをたくさんいただきました。(下川孝子、三河翔馬)



・獣医キャリアスキルアップ(インターンシップ)研修

6月から獣医学科5年生143名が全国237か所で研修をさせていただきました。研修先は東京、愛媛(今治12)、大阪、愛知が多く、今年も都会・臨床志向と地元・安価傾向ですが、北海道での産業動物臨床が増加しました。丁寧な指導にお礼申し上げます。(K)

順位	都道府県	研修先数
1	東京	33
2	愛媛	23
3	大阪	19
4	北海道	16
5	愛知	13
5	兵庫	13
5	広島	13

・**公開セミナー** 6月29日にバージニア工科大学教授 米国外科専門医(Diplomate of the ACVS)のDr. Otto I. Lanzを講師としてVMTH第10回公開セミナーを開催。



演題は「前十字靭帯断裂の診断と治療法」と「短頭種気道症候群の外科」。開業獣医師、学生や教員、病院スタッフ47名が参加し、学生も交えた活発なディスカッションが講演終了後も続きました。(糸井崇将)

・**研修医・学生の学会発表** VMTHの研修医が増え、学生が6年生になって学会発表をする機会が増えてきました。最近の学会発表のリストをお知らせします。

○1年間のホルスタイン種乳牛における畜舎環境および生理学的パラメータとストレスとの関係 **岩成杏珠**、野原正勝、久枝啓一 第6回日本ワンヘルスサイエンス学会年次学術集会 2022年9月

○ホルスタイン種乳牛10頭の一年間における乳量と血液性状との関係 **野中 麗**、**岩成杏珠**、久枝啓一 第27回日本乳房炎研究会学術集会 2022年10月

○犬の腫瘍における免疫制御分子の発現プロファイル **宮武咲妃**、宮前二郎、邊見弘明、村上康平 第19回日本獣医内科学アカデミー学術集会 2023年2月

○イヌ糖尿病の有病率に対する性腺の影響 **小西健太**、汾陽光盛、星 史雄 第19回日本獣医内科学アカデミー学術大会 2023年2月

○日本在来馬「野間馬」のアレルゲン特異的抗体検査 **吉田紗英**、岩田恵理、小野哲嗣 令和4年度広島県獣医師会東広島支部学術集会 2023年3月

○黒毛和種繁殖農場における牛伝染性リンパ腫清浄化へ向けた取り組み **片山創太**、増田恒幸、郡司美緒 第54回鳥取県獣医学会 2023年7月

・日本動物看護学会第32回大会開催のお知らせ

9月2・3日に今治キャンパスにて日本動物看護学会第32回大会が開催されます。テーマは「実践の知から科学の知へ」です。愛玩動物看護師が誕生してから初めての開催となります。ぜひご参加お待ちしております。詳しくは大会HPをご覧ください。(佐伯香織)



新入教職員紹介

伊与田 洋三 事務長 4月に着任しました。前任は愛媛県職員で41年間勤務、今治には30年程前に県立今治病院の増築で来ていました。夜の街はよく知りませんが、焼き鳥のうまさに感動でした。毎日の長距離車通勤は疲れるので、月1回今治泊と市内散策が必須。多くの若人が全国から愛媛に来ることは、地元民にとっては本当にありがたい。VMTHが円滑に運営できるよう下支えをしていきます。

辻 可奈子 研修獣医師 5月から働いています。前は愛知県と山口県の一次病院勤務でした。二次病院の仕事は初めてで、これまで経験してこなかった専門性の高い検査、治療に携わり、良い刺激を感じています。これからは自分のスキル向上に励みつつ、初めての四国ライフなので素敵な場所を色々巡ります！

安藤 真葵 愛玩動物看護師 今年3月に獣医保健看護学科を卒業、国家試験にも無事合格し、4月から勤務しています。慣れないこともたくさんありますが、一日でも早く戦力になるように奮闘中。愛媛での生活は5年目になり、バイクを楽しむことと、ハリネズミの蘭丸を愛でることが日課です^^

教員の昇任 VMTH関係では、素晴らしい教育研究業績をあげた佐伯亘平(腫瘍科)、佐伯香織(動物看護科)が准教授に、村上康平(内科)が講師に昇任しました。さらなる活躍を期待です。

コラム1 グルメ in 今治 #8 粉もんシリーズ第2弾は波止浜 大浜漁港のすぐそば、知る人ぞ知る「お好み焼き 昌万」。

壁を埋め尽くす著名人サインとテレビ取材写真。内々で持込みOKのビールを開けつつ注文すると、その大きさに笑える超ビッグモダン焼き(うどんまたはそば入り)。キャベツ山盛食べ応え抜群、どこか懐かしい。卓上辛口ソース味変もまた良しで超満腹。一番の魅力はおかみ「みーこ」ちゃんの人情あふれるトーク。(朱 夏希)



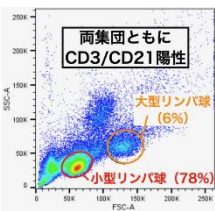
VMTHの診療 化学療法は抗がん剤による治療のことで、白血病(リンパ腫)等の血液系腫瘍が対象です。抗がん剤は多種あり、がんの種類により効果と副作用の種

類・程度が様々です。VMTHでは詳しい検査をしてがんの種類やステージを正確に診断し、併発疾患も詳細に評価して最適薬を選択します。薬が効かなくなり瀕死状態で来院したT細胞性肝臓リンパ腫のぽち君は、抗がん剤（ニムスチン）と積極的点滴や栄養補給によりほぼ回復（完全寛解と言います）して元気になり、飼い主様に喜ばれました。すべてが成功とはなりませんが、私たちはその動物と飼い主様に最適な方針を示し、協力して治療します。お困りの時はご相談下さい。（小林宏祐）



閉鎖ユニットでの抗がん剤の調剤

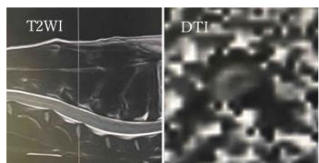
VMTH Case Report VMTH独自のフローサイトメトリ（FCM）腫瘍診断の続報。11歳コーギー、避妊雌が繰返す直腸脱と下痢で来院。各種検査で骨髓をはじめ全身に腫瘍を検出し細胞の形と遺伝子解析によるB細胞クローン性陽性から慢性リンパ性白血病（CLL）と診断。しかしFCMによる表面抗原解析ではT細胞マーカーCD3とB細胞マーカーCD21が陽性の非典型的結果。このタイプのCLLは基本的に予後不良なので慎重に治療を進め、骨髓腫瘍による重度貧血を乗り越え、2ヶ月後も元気です。（酒井治、村上康平）



コラム2 和田動物看護師の釣り日誌 2023年1月2日 晴れ、今年の初釣りはホーム今治港沖。初めて買ったカワハギ専用竿に4本針つけ、餌はスーパーで買った地エビで出船。釣果は写真の私の顔のとおりです。今治では、カワハギはウマズラを指し（引きが強く、味も好まれます）、世間のカワハギはマルハギと呼びます。私はカワハギ釣りが好きで世間のカワハギに慣れていたので、始めは名前に混乱しましたが、今はすっかり慣れました。それと今治ウマズラの肝の白さにビックリ。同じ魚でも食物が違えば肝の色と味がこんなに違うのかと、臨床栄養指導認定動物看護師らしく食の大切さをかみしめます。その晩は、正月を言い訳に少し高い日本酒+マルとウマを並べた肝和えをかみしめ・・・至福。（和田優子）



OUS-VET Article Arai K, Itoi T, Akashi N et al. Variation in diffusion tensor imaging parameters in the cervical and thoracic spinal cord (C1-C5 and C6-T2) segments of normal Beagle dogs. *Vet Sci* 10(1): 31, 2023. MRIは磁力で体内を見る方法です。拡散テンソル画像は生体内の水分子の移動方向を反映した特殊な撮影方法で、身体に傷をつけないで神経線維の構造を解析できます。私たちは健康なイヌ脊椎の拡散テンソル画像を詳細に撮影・解析し、脊椎の部位ごとの正常値を示しました。これにより、脊椎の異常をより明確に検出でき、脊椎疾患の診断や新規治療法開発に活用できます。（新井清隆）



コラム3 動物がん研究者のスイーツリサーチ #2 連日の猛暑！で道産子の私は茹だる毎日。もう、夏の風物詩 かき氷しかありません。こちらは今治銀座にあるカフェ寺ス〜慈照堂〜の抹茶ミルクかき氷でございます。抹茶シロップは濃厚でかけすぎ注意ですが練乳とのハーモニーが最高。もちろん白玉も一緒に。やわらかな氷をお口に運べば、暑さも忘れてしまうかも。（田川道人）

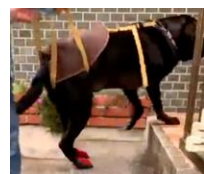


外科診療科の表と裏（育休編） 5月に第一子が生まれ、9月まで育休のため病院を離れています。元来の性格？も相まって、かわいい子どもの成長、人類学者と小児科医の間での育児観の乖離、田中伶子さんの「一生作り続けたいおかず」シリーズレシピのすばらしさと、毎日が発見の連続で、自分がホモサピエンスの一個体であることを再確認します。勇敢に出産に臨んだ妻にはもちろん、育休取得をサポートしてくれた大学・病院関係者、そして温かく理解を示してくださった飼い主さんたちに、心から感謝します。これからも子育てで楽しむぞ！（佐伯亘平）



まだネコのほうが大きいね

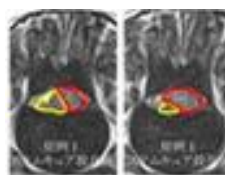
VMTHの愛玩動物看護師 病気の動物との向き合い方 手術後にDICを併発して著しく弱り、立てなくなったユベルちゃん11歳男子。体重40kgと体が大きく飼い主様が高齢のため、ケアの負担軽減を目指し自宅リハビリとしてピーナッツボールを使ったSit & Stand 中心の能動的トレーニングを提案・指導しました。本犬と飼い主様の頑張りで、今では階段も登れます。これからも病気とその先を見据えて動物達に向き合います。（宮部真裕）



コラム4 愛媛のお酒 #8 真夏のおススメとして西条市成龍酒造の「成龍然すずかぜ 涼/RYO」をご紹介します。うだるような暑さの中まずはひと口。微炭酸がシュワツと広がり、うす濁りの少しまったりとした甘さにすっきり辛口が後追いし、鯨刺しの力強さにも負けない旨味。生原酒のおり（澱/滓）には酒米のでんぷんやタンパク質、酵母が含まれるとのこと。夏バテ気味のこの季節、美味で楽しい栄養ドリンクに！？（齋藤文代、K）



椎間板ヘルニア症状改善薬の臨床研究 椎間板ヘルニアは脊椎の緩衝剤である椎間板が逸脱して脊髄を圧迫障害する病気です。犬脂肪組織由来間葉系幹細胞製剤（ステムキュア 物産アニマルヘルス）は、歩けないような重い症状を改善しますが、逸脱椎間板の退縮効果は不明でした。私たちは犬の症例にこの薬を点滴投与し、症状改善と逸脱椎間板退縮効果を検討中です。これまで試験した2例では、痛みが軽減して歩けるようになり、逸脱椎間板が退縮しました（MR像黄色）。4-9カ月経過した今も症状は再発せず元気です。対象症例は条件があります。興味のあるかたは事務にお問合せください。（糸井崇将）



編集の後始末 ・暑さが厳しいこの頃ですが、お元気でお過ごしください。NEWS letter #8も話題満載でお届けします。
・病院セミナーをようやく再開。今後多くの魅力的な情報を発信できるよう努めてまいります。
・教職員が増えて、教員も昇任しました。人が増えるのは多々益々弁ずで、活気が高まるはずです。
・38さんのイラストは東巴（トンパ）文字の狗（犬）。チベット/雲南のナシ族が今も使う象形文字（Wiki）。確かに犬で墨書が似合う。不思議な魅力で獣医学と合いそう（K）

岡山理科大学獣医学教育病院
〒794-8555 今治市いこいの丘1-3
TEL: 0898-52-9001, FAX: 0898-52-9211
E-メール: vmth@vet.ous.ac.jp
URL: <https://www.vmth.ous.ac.jp>

